



コンフィギュレーション ファイルの取り扱い

この章では、デバイスの構成ファイル进行操作する手順を説明します。

- 構成ファイルの概要, [on page 1](#)
- 構成ファイルに関する注意事項と制限事項 (2 ページ)
- コンフィギュレーション ファイルの管理, [on page 2](#)
- デバイス コンフィギュレーションの確認, [on page 14](#)
- コンフィギュレーション ファイルを使用した作業例, [on page 15](#)
- 構成ファイルの関連資料 (16 ページ)

構成ファイルの概要

コンフィギュレーションファイルには、Cisco NX-OS デバイス上の機能を設定するために使用される Cisco NX-OS ソフトウェアのコマンドが保存されます。コマンドは、システムを起動したとき (startup-config ファイルから)、またはコンフィギュレーションモードで CLI にコマンドを入力したときに、Cisco NX-OS ソフトウェアによって解析 (変換および実行) されます。

スタートアップ構成ファイルを変更するには、**copy running-config startup-config** コマンドを使用してスタートアップ構成に実行構成ファイルを保存するか、ファイルサーバーからスタートアップ構成へ構成ファイルをコピーします。

コンフィギュレーション ファイルのタイプ

Cisco NX-OS ソフトウェアのコンフィギュレーション ファイルには、実行コンフィギュレーションとスタートアップコンフィギュレーションの2種類があります。デバイスは、その起動時にスタートアップコンフィギュレーション (startup-config) を使用して、ソフトウェア機能を設定します。実行コンフィギュレーション (running-config) には、スタートアップコンフィギュレーションファイルに対して行った現在の変更が保存されます。2つのコンフィギュレーションファイルは別々の設定にできます。デバイス構成は、永続的ではなく一時的に変更することもできます。この場合、グローバル コンフィギュレーション モードでコマンドを使用す

ることにより、実行コンフィギュレーションを変更しますが、スタートアップ コンフィギュレーションにはその変更を保存しないようにします。

実行構成を変更するには、**configure terminal** コマンドを使用して、グローバル構成モードを開始します。Cisco NX-OS コンフィギュレーションモードの使用時には、通常コマンドはすぐに実行され、入力直後またはコンフィギュレーションモードを終了した時点で実行コンフィギュレーション ファイルに保存されます。

スタートアップコンフィギュレーションファイルを変更するには、実行コンフィギュレーション ファイルをスタートアップ コンフィギュレーションに保存するか、コンフィギュレーション ファイルをファイル サーバからスタートアップ コンフィギュレーションにダウンロードします。

構成ファイルに関する注意事項と制限事項

構成ファイルに関する注意事項と制限事項は次のとおりです。

コンフィギュレーション ファイルの管理

ここでは、コンフィギュレーション ファイルの管理方法について説明します。

実行コンフィギュレーションのスタートアップコンフィギュレーションへの保存

実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションに保存することで、次にデバイスをリロードするときのために変更を保存できます。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **show running-config**
2. **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) show running-config Example: switch# show running-config	実行設定を表示します。
ステップ 2	copy running-config startup-config Example:	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

	Command or Action	Purpose
	switch# copy running-config startup-config	

リモート サーバへのコンフィギュレーション ファイルのコピー

内部メモリに保存されたコンフィギュレーション ファイルをリモート サーバにコピーして、バックアップとして使用したり、他の Cisco NX-OS デバイスを設定するために使用したりすることができます。

SUMMARY STEPS

1. **copy scheme***running-config***server://[url /]filename /**
2. **copy scheme***startup-config***server://[url /]filename /**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	copy scheme <i>running-config</i> server://[url /]filename / Example: switch# copy running-config tftp://10.10.1.1/sw1-run-config.bak	リモートサーバへ実行コンフィギュレーション ファイルをコピーします。 <i>scheme</i> 引数に対しては、 tftp: 、 ftp: 、 scp: 、または sftp: を入力できます。 <i>server</i> 引数は、リモートサーバのアドレスまたは名前であり、 <i>url</i> 引数はリモートサーバにあるソース ファイルへのパスです。 <i>server</i> 、 <i>url</i> 、および <i>filename</i> の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。
ステップ 2	copy scheme <i>startup-config</i> server://[url /]filename / Example: switch# copy startup-config tftp://10.10.1.1/sw1-start-config.bak	スタートアップ コンフィギュレーション ファイルをリモート サーバにコピーします。 <i>scheme</i> 引数に対しては、 tftp: 、 ftp: 、 scp: 、または sftp: を入力できます。 <i>server</i> 引数は、リモートサーバのアドレスまたは名前であり、 <i>url</i> 引数はリモートサーバにあるソース ファイルへのパスです。 <i>server</i> 、 <i>url</i> 、および <i>filename</i> の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。

Example

次に、リモート サーバへ構成ファイルをコピーする例を示します。

```
switch# copy running-config
tftp://10.10.1.1/sw1-run-config.bak
```

```
switch# copy startup-config
tftp://10.10.1.1/sw1-start-config.bak
```

リモート サーバからの実行コンフィギュレーションのダウンロード

別の Cisco NX-OS デバイスで作成し、リモート サーバにアップロードしたコンフィギュレーションファイルを使用して、Cisco NX-OS デバイスを設定できます。このファイルを、リモート サーバから TFTP、FTP、Secure Copy (SCP) を使用してデバイスに、または Secure Shell FTP (SFTP) を使用して実行コンフィギュレーションにダウンロードします。

Before you begin

ダウンロードするコンフィギュレーション ファイルが、リモート サーバの正しいディレクトリにあることを確認します。

ファイルに対する許可が正しく設定されていることを確認します。ファイルのアクセス権は、誰でも読み取り可能に設定されている必要があります。

Cisco NX-OS デバイスがリモート サーバにルーティングされることを確認します。サブネット間でトラフィックをルーティングするルータまたはデフォルトゲートウェイがない場合、Cisco NX-OS デバイスとリモート サーバは同一のサブネットワーク内にある必要があります。

ping または **ping6** コマンドを使用して、リモート サーバへの接続を確認します。

SUMMARY STEPS

1. **copy scheme://server/[url/]filename running-config**
2. (Optional) **show running-config**
3. (Optional) **copy running-config startup-config**
4. (Optional) **show startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	copy scheme://server/[url/]filename running-config Example: switch# copy tftp://10.10.1.1/my-config running-config	リモート サーバから実行コンフィギュレーション ファイルをダウンロードします。 <i>scheme</i> 引数に対しては、 tftp: 、 ftp: 、 scp: 、または sftp: を入力できます。 <i>server</i> 引数は、リモート サーバのアドレスまたは名前であり、 <i>url</i> 引数はリモート サーバにあるソース ファイルへのパスです。 <i>server</i> 、 <i>url</i> 、および <i>filename</i> の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。

	Command or Action	Purpose
ステップ 2	(Optional) show running-config Example: switch# show running-config	実行設定を表示します。
ステップ 3	(Optional) copy running-config startup-config Example: switch# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
ステップ 4	(Optional) show startup-config Example: switch# show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

リモート サーバからのスタートアップ コンフィギュレーションのダウンロード

別の Cisco NX-OS デバイスで作成し、リモート サーバにアップロードしたコンフィギュレーションファイルを使用して、Cisco NX-OS デバイスを設定できます。このファイルを、リモート サーバから TFTP、FTP、Secure Copy (SCP) を使用してデバイスに、または Secure Shell FTP (SFTP) を使用してスタートアップ コンフィギュレーションにダウンロードします。



Caution

この手順を実行すると、Cisco NX-OS デバイス上のすべてのトラフィックが中断されます。

Before you begin

コンソール ポート上のセッションにログインします。

ダウンロードするコンフィギュレーション ファイルが、リモート サーバの正しいディレクトリにあることを確認します。

ファイルに対する許可が正しく設定されていることを確認します。ファイルのアクセス権は、誰でも読み取り可能に設定されている必要があります。

Cisco NX-OS デバイスがリモート サーバにルーティングされることを確認します。サブネットワーク間でトラフィックをルーティングするルータまたはデフォルトゲートウェイがない場合、Cisco NX-OS デバイスとリモート サーバは同一のサブネットワーク内にある必要があります。

ping または ping6 コマンドを使用して、リモート サーバへの接続を確認します。

SUMMARY STEPS

1. **write erase**
2. **reload**
3. **copy scheme://server/[url /]filename running-config**
4. **copy running-config startup-config**

5. (Optional) show startup-config

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	write erase Example: <pre>switch# write erase</pre>	スタートアップコンフィギュレーションファイルを削除します。
ステップ 2	reload Example: <pre>switch# reload This command will reboot the system. (y/n)? [n] y ... Enter the password for "admin": <password> Confirm the password for "admin": <password> ... Would you like to enter the basic configuration dialog (yes/no): n switch#</pre>	Cisco NX-OS デバイスをリロードします。 Note デバイスを設定するために、セットアップユーティリティを使用しないでください。
ステップ 3	copy scheme://server/[url /]filename running-config Example: <pre>switch# copy tftp://10.10.1.1/my-config running-config</pre>	リモートサーバから実行コンフィギュレーションファイルをダウンロードします。 <i>scheme</i> 引数に対しては、 tftp: 、 ftp: 、 scp: 、または sftp: を入力できます。 <i>server</i> 引数は、リモートサーバのアドレスまたは名前であり、 <i>url</i> 引数はリモートサーバにあるソースファイルへのパスです。 <i>server</i> 、 <i>url</i> 、および <i>filename</i> の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。
ステップ 4	copy running-config startup-config Example: <pre>switch# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションファイルをスタートアップコンフィギュレーションファイルとして保存します。
ステップ 5	(Optional) show startup-config Example: <pre>switch# show startup-config</pre>	実行設定を表示します。

外部フラッシュ メモリ デバイスへのコンフィギュレーション ファイルのコピー

後で使用するために、コンフィギュレーション ファイルをバックアップとして外部フラッシュ メモリ デバイスにコピーできます。

Before you begin

外部フラッシュ メモリ デバイスを、アクティブなスーパーバイザ モジュールに挿入します。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **dir** {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]
2. **copy running-config** {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]filename
3. **copy startup-config** {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]filename

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) dir {slot0: usb1: usb2:}[directory/] Example: switch# dir slot0:	外部フラッシュ メモリ デバイス上のファイルを表示します。
ステップ 2	copy running-config {slot0: usb1: usb2:}[directory/]filename Example: switch# copy running-config slot0:dsn-running-config.cfg	外部フラッシュ メモリ デバイスに実行コンフィギュレーションをコピーします。 <i>filename</i> の引数では大文字と小文字が区別されます。
ステップ 3	copy startup-config {slot0: usb1: usb2:}[directory/]filename Example: switch# copy startup-config slot0:dsn-startup-config.cfg	外部フラッシュ メモリ デバイスにスタートアップコンフィギュレーションをコピーします。 <i>filename</i> の引数では大文字と小文字が区別されます。

外部フラッシュ メモリ デバイスからの実行構成のコピー

Cisco NX-OS デバイスを設定するには、別の Cisco NX-OS デバイスで作成され、外部フラッシュ メモリ デバイスに保存されたコンフィギュレーション ファイルをコピーします。

Before you begin

外部フラッシュ メモリ デバイスを、アクティブなスーパーバイザ モジュールに挿入します。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **dir {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]**
2. **copy {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]filename running-config**
3. (Optional) **show running-config**
4. (Optional) **copy running-config startup-config**
5. (Optional) **show startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) dir {slot0: usb1: usb2:}[directory/] Example: switch# dir slot0:	外部フラッシュ メモリ デバイス上のファイルを表示します。
ステップ 2	copy {slot0: usb1: usb2:}[directory/]filename running-config Example: switch# copy slot0:dsn-config.cfg running-config	外部フラッシュ メモリ デバイスから実行コンフィギュレーションをコピーします。 <i>filename</i> の引数では大文字と小文字が区別されます。
ステップ 3	(Optional) show running-config Example: switch# show running-config	実行設定を表示します。
ステップ 4	(Optional) copy running-config startup-config Example: switch# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。
ステップ 5	(Optional) show startup-config Example: switch# show startup-config	スタートアップコンフィギュレーションを表示します。

外部フラッシュメモリ デバイスからのスタートアップ構成のコピー

Cisco NX-OS デバイス上のスタートアップ コンフィギュレーションを復元するには、外部フラッシュ メモリ デバイスに保存された新しいスタートアップ コンフィギュレーション ファイルをダウンロードします。

Before you begin

外部フラッシュ メモリ デバイスを、アクティブなスーパーバイザ モジュールに挿入します。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **dir** {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]
2. **copy** {slot0: | usb1: | usb2:}[directory /]filename **startup-config**
3. (Optional) **show startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) dir {slot0: usb1: usb2:}[directory/] Example: switch# dir slot0:	外部フラッシュ メモリ デバイス上のファイルを表示します。
ステップ 2	copy {slot0: usb1: usb2:}[directory /]filename startup-config Example: switch# copy slot0:dsn-config.cfg startup-config	外部フラッシュ メモリ デバイスからスタートアップ コンフィギュレーションをコピーします。 <i>filename</i> の引数では大文字と小文字が区別されます。
ステップ 3	(Optional) show startup-config Example: switch# show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

内部ファイルシステムへのコンフィギュレーションファイルのコピー

後で使用するために、コンフィギュレーションファイルをバックアップとして内部メモリにコピーできます。

SUMMARY STEPS

1. **copy running-config** [filesystem:][directory/] | [directory/]filename
2. **copy startup-config** [filesystem:][directory/] | [directory/]filename

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	copy running-config [filesystem:][directory/] [directory/]filename Example: switch# copy running-config bootflash:sw1-run-config.bak	実行コンフィギュレーションファイルを内部メモリにコピーします。 <i>filesystem</i> 、 <i>directory</i> 、および <i>filename</i> の各引数では、大文字と小文字が区別されます。

	Command or Action	Purpose
ステップ 2	copy startup-config [<i>filesystem:</i>][<i>directory/</i>] [<i>directory/</i>] <i>filename</i> Example: <pre>switch# copy startup-config bootflash:sw1-start-config.bak</pre>	スタートアップ コンフィギュレーション ファイルを内部メモリにコピーします。 <i>filesystem</i>、<i>directory</i>、および <i>filename</i> の各引数では、大文字と小文字が区別されます。

以前の構成へのロールバック

メモリ破損などの障害が発生し、バックアップされたバージョンからコンフィギュレーションを復元することが必要になる場合があります。



Note

copy running-config startup-config コマンドを実行するたびに、バイナリ ファイルが作成され、ASCII ファイルが更新されます。有効なバイナリ コンフィギュレーション ファイルを使用すると、ブート全体の時間が大幅に短縮されます。バイナリ ファイルはアップロードできませんが、その内容を使用して既存のスタートアップ コンフィギュレーションを上書きできます。**write erase** コマンドがバイナリ ファイルをクリアします。

SUMMARY STEPS

1. **write erase**
2. **reload**
3. **copy configuration_file running-configuration**
4. **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	write erase Example: <pre>switch# write erase</pre>	スイッチの現在のコンフィギュレーションを削除します。
ステップ 2	reload Example: <pre>switch# reload</pre>	デバイスを再起動します。ブートして実行するデバイス用のキックスタートおよびシステム イメージ ファイルを提供するよう求められます。 Note デフォルトでは、reload コマンドは、スタートアップ構成のバイナリ バージョンを使用してデバイスをリロードします。

	Command or Action	Purpose
		Cisco NX-OS 6.2(2) 以降、 reload ascii コマンドを使用して、デバイスのリロード時に構成の ASCII バージョンをスタートアップ構成にコピーできます。
ステップ 3	copy configuration_file running-configuration Example: <pre>switch# copy bootflash:start-config.bak running-configuration</pre>	以前に保存されたコンフィギュレーションファイルを実行コンフィギュレーションにコピーします。 Note <i>configuration_file</i> ファイル名引数では、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 4	copy running-config startup-config Example: <pre>switch# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

存在しないモジュールのコンフィギュレーションの削除

シャーシから I/O モジュールを取り外す場合は、実行コンフィギュレーションからそのモジュールのコンフィギュレーションを削除することもできます。



Note シャーシの空のスロットに対するコンフィギュレーションのみを削除できます。

Before you begin

シャーシから I/O モジュールを取り外します。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **show hardware**
2. **purge module slot running-config**
3. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) show hardware Example: <pre>switch# show hardware</pre>	デバイスに取り付けられたハードウェアを表示します。

	Command or Action	Purpose
ステップ 2	purge module slot running-config Example: switch# purge module 3 running-config	実行コンフィギュレーションから存在しないモジュールのコンフィギュレーションを削除します。
ステップ 3	(Optional) copy running-config startup-config Example: switch# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

構成の削除

デバイス上のコンフィギュレーションを削除して、工場出荷時のデフォルト値に戻すことができます。

デバイス上の永続メモリに保存された次のコンフィギュレーションファイルを削除できます。

- 新興企業
- Boot
- [デバッグ (Debug)]

write erase コマンドを使用すると、次のものを除くすべてのスタートアップ構成が削除されます。

- ブート変数定義
- 次のものを含む mgmt0 インターフェイス上の IPv4 コンフィギュレーション
 - アドレス
 - サブネット マスク

ブート変数の定義を削除するには、手順 1 と手順 2 に従います。

管理インターフェイスのブート変数、実行構成、および IP 構成を削除するには、手順 3 から手順 5 に従います。

SUMMARY STEPS

1. **write erase boot**
2. **reload**
3. **write erase**
4. **write erase boot**
5. **reload**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	write erase boot Example: <pre>switch# write erase boot</pre>	ブート変数定義を消去します。
ステップ 2	reload Example: <pre>switch# reload</pre>	デバイスを再起動します。ブートして実行するデバイス用のキックスタートおよびシステムイメージファイルを提供するよう求められます。デフォルトでは、 reload コマンドは、スタートアップ構成のバイナリバージョンを使用してデバイスをリロードします。
ステップ 3	write erase Example: <pre>switch# write erase</pre>	ブート変数定義を消去します。
ステップ 4	write erase boot Example: <pre>switch# write erase boot</pre>	管理インターフェイスのブート変数定義と IPv4 構成が消去されます。
ステップ 5	reload Example: <pre>switch# reload</pre>	デバイスを再起動します。ブートして実行するデバイス用のキックスタートおよびシステムイメージファイルを提供するよう求められます。デフォルトでは、 reload コマンドは、スタートアップ構成のバイナリバージョンを使用してデバイスをリロードします。

非アクティブなコンフィギュレーションのクリア

非アクティブなサービス品質（QoS）やアクセス制御リスト（ACL）の構成はクリアできません。

手順の概要

1. （任意） **show running-config** タイプ **inactive-if-config**
2. **clear inactive-config** *policy*
3. （任意） **show inactive-if-config** log

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) show running-config タイプ inactive-if-config 例 : <pre># show running-config ipqos inactive-if-config</pre>	非アクティブな QoS と ACL のコンフィギュレーションをすべて表示します。 type 引数の値は、aclmgr および ipqos です。 • aclmgr : aclmgr の非アクティブな構成を表示します。 • ipqos : qosmgr の非アクティブな構成を表示します。
ステップ 2	clear inactive-config policy 例 : <pre># clear inactive-config qos clear qos inactive config Inactive if config for QoS manager is saved at/bootflash/qos_inactive_if_config.cfg for vdc default & for other than default vdc: /bootflash/vdc_x/qos_inactive_if_config.cfg (where x is vdc number) you can see the log file @ show inactive-if-config log</pre>	非アクティブなコンフィギュレーションをクリアします。 policy 引数の値は、qos および acl です。 次に、値について説明します。 • qos : 非アクティブな QoS 構成をクリアします。 • acl : 非アクティブな ACL 構成をクリアします。 • acl qos : 非アクティブな ACL 構成および非アクティブな QoS 構成をクリアします。
ステップ 3	(任意) show inactive-if-config log 例 : <pre># show inactive-if-config log</pre>	非アクティブなコンフィギュレーションをクリアするのに使用されたコマンドを表示します。

デバイス コンフィギュレーションの確認

構成を確認するためには、次のいずれかのコマンドを使用します。

コマンド	目的
show running-config	Running Configuration を表示します
show startup-config	スタートアップコンフィギュレーションを表示します。

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの Cisco Nexus コマンド参考資料を参照してください。

コンフィギュレーション ファイルを使用した作業例

ここでは、コンフィギュレーション ファイルを使用した作業例を示します。

コンフィギュレーション ファイルのコピー

次に、bootflash: ファイルシステムに実行コンフィギュレーションをコピーする例を示します。

```
switch# copy system:running-config bootflash:my-config
```

コンフィギュレーション ファイルのバックアップ

この例では、bootflash: ファイル システムにスタートアップ コンフィギュレーションをバックアップする方法を示します（ASCII ファイル）。

```
switch# copy startup-config bootflash:my-config
```

この例では、TFTP サーバにスタートアップ コンフィギュレーションをバックアップする方法を示します（ASCII ファイル）。

```
switch# copy startup-config tftp://172.16.10.100/my-config
```

この例では、bootflash: ファイル システムに実行コンフィギュレーションをバックアップする方法を示します（ASCII ファイル）。

```
switch# copy running-config bootflash:my-config
```

以前の構成へのロールバック

現在のコンフィギュレーションを以前保存したコンフィギュレーションのスナップショットコピーにロールバックするには、次の手順を実行する必要があります。

1. **write erase** コマンドで、現在の実行イメージをクリアします。
2. **reload** コマンドで、デバイスを再起動します。



Note

デフォルトでは、**reload** コマンドは、スタートアップ構成のバイナリバージョンを使用してデバイスをリロードします。

reload ascii コマンドを使用すれば、デバイスのリロード時に構成の ASCII バージョンをスタートアップ構成にコピーできます。

3. **copy configuration_file running-configuration** コマンドで、以前保存した構成ファイルを実行構成にコピーします。

4. **copy running-config startup-config** コマンドを使用して、実行構成をスタートアップ構成にコピーします。

構成ファイルの関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco NX-OS ライセンス設定	『Cisco NX-OS ライセンス ガイド』
コマンド リファレンス	Cisco Nexus 3548 スイッチ NX-OS 基本コマンド リファレンス

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。